

## 〔授業診断シート結果から授業改善を目指します〕

教科毎に項目を設定して行いました授業診断シートの生徒による評価結果を受けて、各教科が思考力・判断力・表現力の育成を柱として、「わかる授業」・「魅力ある授業」を目指し、授業改善に取り組みます。  
～授業の冒頭に「ねらい」や「めあて」を提示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を行います～

### ●国語科

・全学年において、基礎的・基本的なことが身についたと感じている生徒が多いです。生徒がそれらの力を土台とし、思考力・判断力・表現力が向上していることを日常生活の中で実感できるように、主体的な学びを柱とした授業の工夫改善を今後も行っていきたいと考えています。

### ●社会科

・全学年を通し、比較的高い評価をここ数年得ています。しかし、昨年度同様、クラスの雰囲気や個々の生徒の実態が、学習に対する理解や授業への参加意欲などにつながっていることも読み取れました。今後はどのクラスでも「魅力的な授業」の追求を基本に「質問しやすい環境づくり」を目指し、クラスごとの状況をよく把握した上で学習支援をしていきたいと思っています。

### ●数学科

・全学年とも、授業内容に対して前向きに取り組む生徒が多い傾向にある。基礎・基本の定着がしっかりとできている生徒が多い一方、授業内容についていくことができず、個別の対応が必要な生徒がいる状況なので、3学年で実施している少人数習熟度別授業以外にも遅れを感じている生徒に対応する方法や取り組みを考えていく必要があると感じています。

### ●理科

・調査時の単元が影響していることも考えられますが、全ての学年において科学的思考力を身につけさせることが課題であると考えています。自然現象に興味・関心をもたせるために、授業の「めあて」を明確にし、日々の見取りを行います。また、生徒が自ら日常生活と関連させながら課題解決を行うために、日常生活と関連した自然現象に興味をもたせられる授業展開を行っていきます。科学的思考力向上のため、実験レポートの改善や発表の機会を設けるなど、生徒の主体性を活かした授業を意識していきたいと考えています。

### ●音楽科

・ほとんどの生徒は興味をもって、積極的に楽しく授業に取り組んでいます。しかし、音楽の知識については各生徒の基本的な理解の内容に差があり、今後、更なる工夫が必要です。合唱コンクールへの取組や器楽（リコーダー・箏・ギター）の取組の中で、自ら進んで取組め、理解できるような工夫を更に行っていきます。

### ●美術科

・3学年共に、積極的に授業に取り組んでいます。「自分なりにアイデアや表現を工夫して作品づくりを進めることができた」と多くの生徒が感じています。2・3学年では内容が高度になっていきます。さらに基礎・基本を自分のものとし、主体的に活動できるような支援や学びあう授業の展開を工夫していきます。

### ●保健体育科

・全学年において、積極的に授業に取り組むことができています。1年次より継続した態度面の指導の徹底と、思考力・判断力を高める課題解決学習に重きを置いて、授業を展開しています。技能や知識の基礎・基本の定着を図った上で、多くの生徒が保健体育の授業が好きだと感じられること、また【いつでも・どこでも・だれとでも】運動に親しむことができる生涯スポーツに向けた資質や能力を育むことを目指し、教科内での連携を密にとり、指導にあたっていきたいと考えています。

### ●技術・家庭科

・今まで学習してきた内容や他教科での既習事項、生活体験・興味関心を把握し、生徒の技術や興味関心を引き出す題材設定を行います。  
・実践的、体験的活動の充実を図るなかで、生徒自らが問題解決できる力を指導したいと思っています。

### ●英語科

・どの学年も、基本的なことを身につけたと感じている生徒が多いです。それを土台として、英語を使ってコミュニケーションをとろうとする機会がまだまだ不十分であると思われます。即興性のあるやりとり、準備をして話すスピーチなどの機会を多く設け、英語を使ったコミュニケーションを不安なくできるような授業づくりをしていきたいと思っています。